

17 ～ 寄りん菜屋 ～ 3の組



平成12(2000)年5月11日旧河内町時代に都市との交流促進施設として完成・オープン。地元産の農産物の直売と食堂がある。その後



加工室も併設。さらに平成24年に里山の再生事業等で「ピザ釜 や 簡易な野外ステージ



オープンカフェ…」などを併設し、交流を通じて里山で1日が楽しく過ごせる取り組みを展開中である。

18 ～ 大將軍社 ～ 3の組



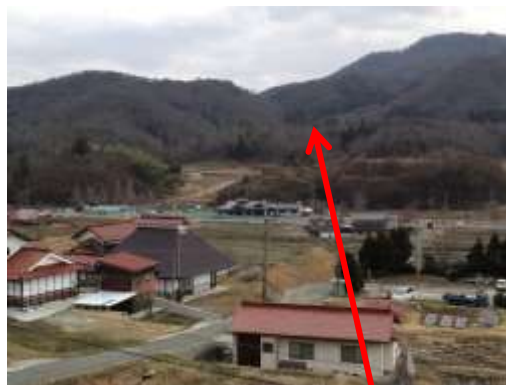
松井家は通称平松井家と呼び 代々の墓所の上に將軍社はあり 平松井家の守護神である。毎朝 向側の屋敷から拜んでいたと伝えられ 地元の人は 今も「だいじょうごん」と呼んでいる。

19 ～ 吉祥寺址 ～ 3の組



「寄りん菜屋」の南の小田川を隔てた 小高い山の上にある。竹林寺(河内町内入野)の末寺と伝えられている。寄りん菜屋の近くで 広場もあり賑わいの場になればと 桜の木などを植えて管理されている。地元の人は通称「きっちょうば」と呼んでいる

20 ～ 矢ヶ峠 ～ 3の組



「やがたお」と読む。昔から北の椋梨村(現 三原市大和町)から野呂観音堂を通り 小田に下って 矢ヶ峠から河内に下り 竹原に通じる重要な通路だったと云う…中央上部の山上のくびれ部分。小田の南側には10の峠があるが一番東にある峠で 小田城から兵士が矢を射たら矢がこの峠に達した(届いた)ことから名称がついたとされる。

21 ～ 塔の畝 ～ 3・⑤の組



東側が3の組 西側が5の組で低い南北の尾根を云い 地元の人は「とうのうね」と呼ぶ。江戸時代の初期に 竹林寺の三重の塔の木組

みをここで言い 竹林寺まで運んで建てた言い伝えがある…「江良番匠」(民話)。

東京都文京区に大正時代に移設し 椿山荘(ちんざんそう)の三重の塔として現存。都内に現存する塔の中で一番古いとされている。

22 ～ 広刈古墳 ～ ⑤の組



三基の横穴式古墳である。場所は3の組の北側に位置し 急な斜面を登って行った所にある。

23 ～ 青谷社 ～ 3の組



青谷という小字名の所に祀ってある水の神さんで 農耕に関する牛神さんも合祀。3・5の組の水掛かりが 氏子で青谷川を流れる水を灌漑用水として 稲作をしている。